Knowledge Suite



2022年8月 ナレッジスイート株式会社

※リリース当日までに、画像イメージ等に変更がある場合があります。

Copyright © KnowledgeSuite Inc. All Rights Reserved.

- 1. 「テーブルの管理」の機能強化
 - ・「状況による制御」タブを追加
 - ・「プロセス」の全般に「実行種別」「アクション種別」を追加
 - ・「プロセス」の入力検証に「入力検証種別」を追加
 - ・「プロセス」に「データの変更」タブを追加
- 2. 「通知」の機能改善
- 3. エディタ項目の設定値を追加
 - ・分類項目に「アンカー」を追加(※開発者向け)
 - ・選択肢一覧で指定できるJSON形式の追加(※開発者向け)
- 4. ルックアップの機能強化(※開発者向け)

1-1 「状況による制御」タブを追加

テーブルの管理に「状況による制御」タブを追加します。

ステータス(状況)に応じたレコード単位の読取専用や項目単位の「入力必須」「読取専用」「非表示」が設定できるようになります。

| 全般 ガ・ インボート | イド サイト面 エクスポート | 峰 一覧 フ カレンダー | イルタ 集計 エディタ クロス集計 ガントチャー | リンク 履歴 8 ト バーンダウンチャート | (物) サマリ ま ・ 時系列チャート | 1算式 プロセス 状況 カンバン 画像ライフ | による制御 ビュー 通い ブラリ 検索 メール | ロ リマインダー サイト統合 |
|----------------|-------------------|-----------------|-----------------------------|--------------------------|------------------------|---------------------------|----------------------------|-------------------|
| スタイル | スクリプト | サイトのアクセス制 | 御レコードのアクセス制 | 項目のアクセス制御 | 変更履歴の一覧 | | | |
| 0 ± (| ○上 ○下 ※新規作成 ● 削除 | | | | | | | |
| | |) | 名称 | 状况 | 説明 | 8 | 読取専用 | |
| | | | | | | | | |

例えば、「プロセス」機能で承認ワークフローを、起票→申請→承認/否認で作成している場合に、 承認欄の項目について、ステータスが"起票"の場合は「非表示」、"申請"後には「入力必須」、承認者による"承認"後は 「読取専用」とし、"否認"された場合はレコードを読取専用とするといった設定が実現可能となります。

次頁へ

1-1 「状況による制御」タブを追加

<詳細設定画面>

| | | * |
|---|--|--|
| 名称* 名称 状況 説明 説明 全般 条件 アクセス制御 | * 末 善 手 準備 実施中 レビュー 完了 | 「状況による制御」の対象とするステータスを設定します。 ステータスに応じて、「状況による制御」の設定が有効になります。 また、*を指定することで、全てのステータスで有効になります。 |
| レコードの制御 □ 読取専用 ▼ 項目の制御 ● 流し ● 入力必須 ● 読取専用 ● 非表示 | 」 ^{余留} レコードを読取専 | 専用にする場合はチェックをオンにします。 |
| | | |
| タイトル 内容 開始 | 各項目について「 | 「入力必須」「読取専用」「非表示」を設定します。 ^{説明} |
| タイトル 内容 開始 完了 作業量 | 各項目について「 ボタン ^{無し} | 「入力必須」「読取専用」「非表示」を設定します。 説明 対象の項目について「入力必須」「読取専用」「非表示」の設定をリセットします。 |
| タイトル 内容 開始 完了 作業量 遺捗率 預作業量 | 各項目について「 ボタン 無し 入力必須 | 「入力必須」「読取専用」「非表示」を設定します。 説明 対象の項目について「入力必須」「読取専用」「非表示」の設定をリセットします。 「状況」で設定したステータスに該当する場合、対象の項目が「入力必須」になります。 |
| タイトル 内容 開始 完了 作業量 進捗率 残作業量 状況 | 各項目について「 ボタン 無し 入力必須 読取専用 | ドスカ必須」「読取専用」「非表示」を設定します。 説明 対象の項目について「入力必須」「読取専用」「非表示」の設定をリセットします。 「状況」で設定したステータスに該当する場合、対象の項目が「入力必須」になります。 「状況」で設定したステータスに該当する場合、対象の項目が「読取専用」になります。 |
| タイトル 内容 開始 完了 作業量 進捗率 残作業量 状況 Mtm+x | ボタン 無し 入力必須 読取専用 非表示 | 「大力必須」「読取専用」「非表示」を設定します。 説明 対象の項目について「入力必須」「読取専用」「非表示」の設定をリセットします。 「状況」で設定したステータスに該当する場合、対象の項目が「入力必須」になります。 「状況」で設定したステータスに該当する場合、対象の項目が「読取専用」になります。 「状況」で設定したステータスに該当する場合、対象の項目が「非表示」になります。 「状況」で設定したステータスに該当する場合、対象の項目が「非表示」になります。 「状況」で設定したステータスに該当する場合、対象の項目が「非表示」になります。 「非表示」はUIにおける表示をなくすもので、HTML上には対象の項目が存在します。 |

1-2 「プロセス」の全般に「実行種別」「アクション種別」を追加

テーブルの管理の「プロセス」タブにて、「全般」に「実行種別」「アクション種別」を追加します。

新たにボタンを追加せずに、既存の「作成」「更新」ボタンを押したタイミングでプロセスが動作するよう設定できるようになります。

| 詳細談 | 淀 | | | | | | | | | × |
|-----|------------|----------|----------------|------------------------------|------------------------|--------------------|----------|--------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| | 名称* 名称 | | | 表示名表示名 | | | | | | |
| ſ | 全般 入力検証 条件 | アクセス制御 | データの変更通知 | | | | | | | |
| | 画面種別 | 編集 | ~ | 現在の状況 | × | 変更後の状況 | | | • | |
| | 説明 | 説明 | | | | | | | | |
| | ツールチップ | ツールチップ | | | | | | | | |
| | 確認メッセージ | 確認メッセージ | | | | | | | | |
| | 成功メッセージ | 成功メッセージ | | | | | | | | |
| | OnClick | OnClick | | | | | | | | |
| | 実行種別 | 追加したボタン | ~ | アクション種別保存 | v | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | |) | | | | |
| | | | | | | |] | | | |
| | 選択朋 | 支 | | 説明 | 1 | | 選 | 択肢 | 1 | 兑明 |
| | 追加したボタン | , | ボタンが追 セスが動作 | 加され、そのボタンを押 します。 | したタイミングで影 | 没定したプロ | 保存 | | 更新処理を行いたい場合に選択しま | す 。 |
| | 作成または更新 | 「ボタン | 新たにボタ 編集画面で | ?ンを追加せずに、新規作 たは「更新」ボタンを押し | 成画面では、「作成 たタイミングでプロ | 伐」 ボタン、] セスが動作 | ポス バッ | ト ク | 更新処理を行わずに、サーバ側での | 処理を行いたい場合に選択します。 |
| | | | | | | | 無し | | 更新処理を行わずに、クライアント す。例)ボタンを押したときに「ス | 側での処理を行いたい場合に選択しま クリプト」のみを動かしたい等 |
| | | | | | | | | | 1 | |

1-3 「プロセス」の入力検証に「入力検証種別」を追加

テーブルの管理の「プロセス」タブにて、「入力検証」に「入力検証種別」を追加します。

| 詳細設定 | | | | × | |
|--|------------|---------|----------|-------|--|
| 名称 * 名称 | 表示名表示名 | | | | |
| 全般 入力検証 条件 アクセス制御 データの変更 通知 入力検証種別 マージ マージ | | | | | |
| | クライアント正規表現 | サーバ正規表現 | エラーメッセージ | 最小 最大 | |
| | | | | | |

| 選択肢 | 説明 |
|-----|---|
| マージ | エディタの項目の詳細設定の「入力検証」とプロセスの「入力検証」を行います。 |
| 置換 | エディタの項目の詳細設定の「入力検証」を行わず、プロセスの「入力検証」のみを行います。 |
| 無し | 「入力検証」を行いません。 |

1-4 「プロセス」に「データの変更」タブを追加

テーブルの管理の「プロセス」タブにて、「データの変更」を追加します。 プロセス用のボタン押下時にデータの変更を行うよう設定できるようになります。 例)承認ボタンを押したときに承認者と承認日を自動的に設定する

| 詳細設定 | | × |
|-----------------------------|--------------------|--------|
| 名称 名称 表示名 | 表示名 | |
| 金般 入力検証 条件 アクセス制脚 データの変更 通知 | | |
| | | |
| ✓ D 支援権別 | 项目 | コピー元/値 |
| | | |
| | | |



1-4 「プロセス」に「データの変更」タブを追加

<詳細設定画面>

| データの変更 | データの変更 第 | | | | | | |
|--------|-------------|--------------------------------------|------------------|---|------------|---|--|
| 変更種別 | (#03ピー | 項目 | 91 トル | ~ | ⊐ピー元 Я́сни | ~ | |
| | 値のコピー | | | | | | |
| | 表示名のコピー | (図 追加) (図 キャンセル) | | | | | |
| | 値の入力 | | | | | | |
| | 日付の入力 | | | | | | |
| | 日時の入力 | | | | | | |
| | 組織の入力 | | | | | | |
| | ユーザの入力 | | | | | | |

| 選択肢 | 説明 | 例 |
|---------|---|-------------------------------|
| 値のコピー | 指定した「コピー元」の項目の値が、指定した「項目」にコピーされます。 | 分類Aの値を分類Bにコピーする |
| 表示名のコピー | 指定した「コピー元」の項目の表示名が、指定した「項目」にコピーされます。 | 分類Cの表示名を分類Dにコピーする |
| 値の入力 | 指定した「値」が、指定した「項目」にコピーされます。「値」には項目の表示名 を指定することも可能です。 | 値(固定文字列+分類Eの値)を分類Fにコピーする |
| 日付の入力 | 指定した「値」および「期間」の日付が、指定した「項目」に設定されます。例) 値に「1」と入力し、期間に「日」を選択した場合は1日後の日付が設定されます。 | 1日後の日付を日付Aに設定する |
| 日時の入力 | 指定した「値」および「期間」の日時が、指定した「項目」に設定されます。例) 値に「1」と入力し、期間に「日」を選択した場合は1日後の日時が設定されます。 | 1ヶ月前の日時を日付Bに設定する |
| 組織の入力 | ログインした「ユーザ」の所属する「組織」が設定されます。 | ログインした「ユーザ」の所属する「組織」を分類Gに設定する |
| ユーザの入力 | ログインした「ユーザ」が設定されます。 | ログインした「ユーザ」を分類Hに設定する |

カスタムデザイン使用時の、書式に指定できる項目に以下を追加します。

| ^{通知} | 8 |
|---------------|--|
| 通知種別 | Xール ブレフィックス プレフィックス |
| アドレス* | 782 |
| I | 2 カスタムデザインを使用 |
| 書式 | <pre>{Uri} {'\\name':'[タイトリ]'} {'\\name':'[月石]') {'\\name':'[包理句]') {'\\name':'[管理句]') {'\\name':'[世理句]') {'\\name':'[世理句]') {'\\name':'[世理句]') {'\\name':'[世報句]') {'\\name':'[短載内百]') {'\\name':'[起載内百]') {'\\name':'[起載内百]') {'\\name':'[起載内百]') {\\\name':'[U\$X'H前日]') }</pre> |

| 属性名 | 挙動 |
|-------------------|--|
| DisplayTypes | 更新した際に古い値と新しい値の両方を表示するか(BeforeAndAfterChange)、古い値のみを表示するか(BeforeChange)、新しい値のみを表示 するか(AfterChange)選択して指定します。既定値は"BeforeAndAfterChange"です。 |
| ValueOnly | 項目名および Delimiter を表示せず、項目の値のみ表示します。既定値はfalseです。 |
| ConsiderMultiline | MarkDown形式の項目で、項目名 Delimiter の直後および Allow の前後で改行します。既定値はtrueです。 |



以下エディタ項目の「詳細設定」に設定を追加します。 ・分類項目に「アンカー」を追加(※開発者向け)

| 詳細設定 | | | | | | | | × | | |
|------|-----------|------------|----------------------------|------------------|-------------------------|-----------|------------|-----|----------|---|
| 全般 | 自動採番入力 | 検証 拡張HTML | | | | | | | | |
| · | ▼ 分類A | | | | | | | | | |
| | 表示名* | 分類A | 配置 左寄せ | ~ | 最大文字数 |) | | | | |
| | スタイル | ノーマル 🗸 | 🗌 入力必須 | | - 一括更新す | 許可 | | | | |
| | | □ 重複禁止 | □ 既定値で | כצ– | □ 読取専用 | | | | | |
| | | □ インポートのキー | | | | | | | | |
| | 既定値 | 既定値 | | | | | | | | |
| | 説明 | 說明 | | | | | | | | |
| | 選択肢一覧 | 選択肢一覧 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | □ 検索機能を使う | □ 複数選択 | | □ 選択肢につ | ランクを挿入しない | | | | |
| | E | アンカー | チェック | を入れると、 | 「アンカー書式 | 」欄が表示され、 | , HTMLのAタグ | רי) | ンク)を設定でき | る |
| | | □ 非表示 | フィールトCS | リまり。 | an ha-Juess (an ha-Jues | S | | | | |
| | フルテキストの種類 | 表示名 🖌 | | アンカー | | | | | | |
| | | | アンカー音式 アン | カー書式 | | | | | | |
| | | | | 変更 変更 の ませ | | | | | | |
| | | | C | | | | | | | |

選択肢一覧で指定できるJSON形式に"ColumnFilterExpressions"を追加します。(※開発者向け) ColumnFilterExpressionsを指定することで、選択肢一覧を他の項目の値で絞り込むことができます。

<ColumnFilterExpressionsの指定方法>

| 式の種類 | 記述例 | 説明 |
|------------|------------|--|
| 表示名でフィルタ | [ClassA] | 指定する項目の選択肢一覧を値と表示名で設定していた場合、項目の「表示名」でフィルタします。JSON配列に変換 を行ってフィルタします。 |
| 値でフィルタ | [@ClassA] | 指定する項目の選択肢一覧を値と表示名で設定していた場合、項目の「値」でフィルタします。JSON配列に変換を 行ってフィルタします。 |
| 値でそのままフィルタ | =[@ClassA] | JSON配列に変換を行わずに項目の値でフィルタします。フィルタに指定する項目の値を完全一致させたい場合に利用 します。 |

■設定例

| Ε | | | | | | |
|----------------------------|---|----------------------|--|--|--|--|
| | { | | | | | |
| "SiteId": 12345, | | | | | | |
| "View": [| | | | | | |
| "ColumnFilterExpressions": | | | | | | |
| | | "ClassC": "[ClassA]" | | | | |
| | | } | | | | |
| | | } | | | | |
| | } | | | | | |
|] | | | | | | |

左記の例では、フィルタ対象とする分類項目の選択肢一覧に設定した場合、サイトID:12345のテーブルの 分類Cが設定対象テーブルの分類Aの表示名に一致するレコードでフィルタされます

ルックアップで使用できるJSON形式に"OverwriteForm"を追加します。(※開発者向け)

■設定例

下記の例では「グループ」を選択肢に設定し、「グループ」を選択した際に、「グループ名称」を分類Aに転記します。 このとき分類Aに値が設定されている場合でも「グループ名称」で上書きして転記します。

| Г | | |
|------------------------|---------------|--|
| - | 選択肢 | 説明 |
| [| | |
| "TableName": "Groups", | OverwriteForm | Toで指定した頃目に値を必す転記したい場合はtrueを指定します。 OverwriteFormは省略可能です。省略した場合の規定値は false です。 なお、ユーザによる手動入力した場合であっても上書き転記します。 |
| "Lookups": [| | |
| { | | |
| "From": "GroupName", | | |
| "To": "ClassA", | | |
| "Type": 0, | | |
| "OverwriteForm": true | | |
| } | | |
|] | | |
| } | | |
|] | | |
| | | |